

環境経営レポート

2023 年度(2023 年 7 月～2024 年 6 月)



2024 年 8 月 21 日作成



環 境 経 営 方 針

環境理念

“次の世代に美しい自然を”残すために私たち株式会社建総は全社員をあげて地球環境保全に貢献し、『自然環境は次の世代からの預り物』と捉え心やすらげる美しい自然環境創りを実践し快適生活をトータルにサポートする地域必要企業を目指します。

環境行動方針

株式会社建総は、地球環境規模で物を考え私たちの業務の、保守点検清掃、廃棄物の運搬、下水道・側溝の清掃及び修繕工事を通じて、これに伴う法規制を遵守しながら、環境マネジメントシステムを構築運用し、環境保全、環境汚染の防止及び継続的改善に取り組めます。

1. 化石燃料削減と電気使用量削減により二酸化炭素排出量削減に努めます。
2. 浄化槽の保守点検・清掃によりきれいな処理水を放流させることに努めます。
3. 側溝・排水路・下水道管路清掃、下水道管渠TVカメラ調査を受注し、工事、清掃をすることで、施設の延命を図ります。
4. 排出事業者の産廃削減のために、分別を啓発します。
5. 節水等により水使用量の削減に努めます。
6. 化学物質の管理に努めます。

環境方針は全従業員に周知し、公表します。

制定日 2021年7月5日
改訂日 2023年7月20日

株式会社 建総

代表取締役 安部 拓哉

1. 会社の概要

法人設立年月日	昭和 50 年 7 月 9 日	
資本金	2,000 万円	
売上高	2023 年度	586 百万円 (2023 年 7 月～2024 年 6 月)
事業所名	株式会社 建総	
代表者名	安部 拓哉	
所在地	千葉県市川市原木 3-18-9	
環境管理責任者氏名	岩切博司	
担当者連絡先	(電話)	047-328-8333
	(FAX)	047-328-8338
事業活動の内容	1) 浄化槽保守点検・清掃業・工事業 2) 貯水槽清掃業 3) 産業廃棄物収集運搬業 4) 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ・汚泥、特定家庭用機器再商品化法対象物) 5) 下水道管渠カメラ調査・清掃、 6) 補修工事、しゅんせつ業 7) 側溝・排水管清掃業	

2. 事業規模

	2022 年度	2023 年度
従業員(人)	45	45
本社床面積(m ²)	164.71	164.71

2-1. 収集運搬業

＜収集運搬車両の種類と台数＞

4 トンパッカー車	5 台
3 トンパッカー車	1 台
2 トンパッカー車	6 台
4 トンアーム車	2 台
3 トンアーム車	1 台
2 トン平ボディ車	1 台
バキューム車	6 台
2 t ダンプ車	2 台
4 t プレス車	1 台



2-2. 下水道管渠カメラ調査・補修・しゅんせつ、側溝等清掃業

＜下水道管渠カメラ調査・清掃、しゅんせつ、補修工事、側溝等清掃の車両と台数＞

TV カメラ車	1 台
内面補修車	1 台
10 トンダンパー車	2 台
5 トンダンパー車	1 台
4 トンダンパー車	1 台
高圧洗浄車	2 台
給水車	1 台
ユニックダンプ車	1 台

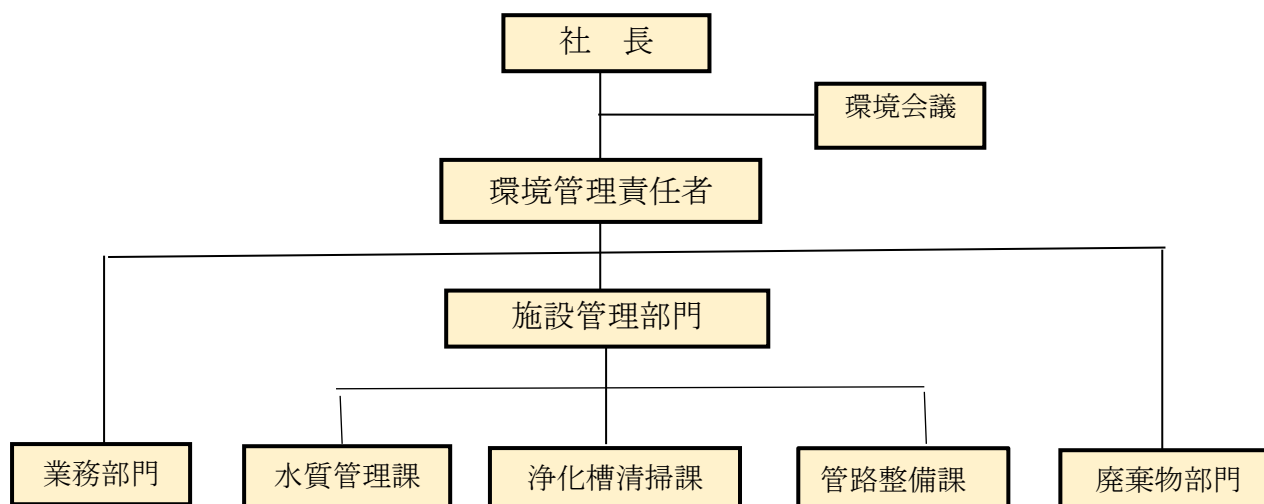


内面補修	洗浄 → TV カメラ調査 → 内面補修・硬化管理
------	---------------------------

3. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録事業者	株式会社建総	千葉県市川市原木 3-18-9
認証登録番号	0002162	
認証登録日	2008 年 2 月 8 日	
認証取得有効期限	2026 年 2 月 7 日	
対象事業所	本社	
対象活動範囲	浄化槽保守点検・清掃業・工事業、貯水槽清掃業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業 下水道管渠カメラ調査・清掃、側溝・排水管清掃、しゅんせつ、補修工事業	

4. 環境管理組織図



	役割・責任・権限
社長	環境経営システムの実施に必要な人、設備、金等の提供 環境管理責任者の任命 文書・記録類の承認 代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連文書・記録類の作成、確認 環境活動の結果を代表者へ報告
環境会議	環境活動結果の審議、コミュニケーション
部門	自部門に関係する環境活動計画の実施と報告 教育訓練・緊急事態訓練の実施

5. 許認可一覧

＜産業廃棄物の収集運搬の許可の内容＞

都道府県	積替 保管	許可番号	許可取得年月日 有効期限年月日	許可品目
千葉県	無	01200042280	令和3年11月22日 令和8年9月16日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類⑤、金属くず①、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず⑤、 鉋さい、がれき類②、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
東京都	無	13-00-042280	令和3年9月13日 令和8年9月12日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、金属くず、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず、 鉋さい、がれき類、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
栃木県	無	00900042280	令和6年3月31日 令和11年3月30日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、金属くず、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず、 鉋さい、がれき類、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
神奈川県	無	01403042280	令和6年6月28日 令和11年1月26日	燃え殻⑥、汚泥⑥⑦、廃油⑥、廃酸⑥⑦、 廃アルカリ⑥⑦、廃プラスチック類②⑥、 金属くず⑥、陶磁器くず・ガラス・コンク リートくず②⑥、鉋さい⑦、がれき類②、 ばいじん⑦、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ
埼玉県	無	01105044280	令和6年5月17日 令和11年2月28日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類②⑥、金属くず⑥、 陶磁器くず・ガラス・コンクリートくず② ⑥、鉋さい、がれき類②、ばいじん、 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ
茨城県	無	00801044280	令和6年6月25日 令和11年3月29日	燃え殻⑧、汚泥⑨、廃油⑥、廃酸⑨、 廃アルカリ⑨、廃プラスチック類③⑥、 金属くず①⑥、陶磁器くず・ガラス・ コンクリートくず③⑥、鉋さい⑧、 がれき類④、ばいじん⑧、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ

- (注) ① 自動車等破砕物を除く
 ② 石綿含有産業廃棄物を含む
 ③ 自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く
 ④ 石綿含有産業廃棄物を除く。
 ⑤ 自動車等破砕物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む
 ⑥ 水銀使用製品産業廃棄物を含む
 ⑦ 水銀含有ばいじん等を含む
 ⑧ 水銀含有ばいじん等を除く
 ⑨ 水銀使用製品を含み、水銀含有ばいじん等を除く

<一般廃棄物の収集運搬の許可の内容>

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限	取扱廃棄物の種類
市川市	第 107 号	2024 年 4 月 1 日	2026 年 3 月 31 日	一般廃棄物 (ごみ・浄化槽汚泥等)

<特例浄化槽工事業届出の内容>

都道府県	届出番号	届出年月日
千葉県	千葉県知事(届-24)第 1605 号	平成 25 年 9 月 11 日

浄化槽法第 33 条第 2 項により特例浄化槽工事業者として届出

<浄化槽清掃業の許可の内容>

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限
市川市	市川市第 7 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日

<浄化槽保守点検業者の登録の内容>

都道府県・市	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県知事(登 10)葛地振第 13 号	令和 4 年 3 月 15 日	令和 9 年 3 月 14 日
船橋市	船橋市長(登 4)第 82 号	令和 4 年 3 月 15 日	令和 9 年 3 月 14 日
千葉市	千葉市長(登 10)第 99 号	令和 4 年 3 月 15 日	令和 9 年 3 月 14 日
柏市	柏市(登 2)第 85 号	令和 4 年 3 月 15 日	令和 9 年 3 月 14 日

<建設業の許可の内容>

	千葉県 建設業の許可
許可番号	千葉県知事 許可(般-30)第 4 1 1 4 2 号
許可期間	令和 5 年 7 月 29 日 ~令和 10 年 7 月 28 日
建設業の種類	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

<建築物排水管清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保 2 7 排第 1 号	令和 4 年 1 月 7 日	令和 10 年 1 月 6 日

<建築物飲料水貯水槽清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保 2 9 貯第 9 号	令和 6 年 4 月 6 日	令和 12 年 4 月 5 日

<排水設備工事業者の指定の内容>

市町村	指定番号	許可取得年月日	有効期限
千葉市	指定第 7 4 3 号	令和 5 年 4 月 1 日	令和 10 年 3 月 31 日

＜一般貨物自動車運送事業の許可の内容＞

許可	許可番号	許可日	営業区域
関東運輸局	関自貨第 756 号	平成 14 年 11 月 7 日	千葉県

＜資格者一覧＞

1 級土木施工管理技士	2 名	下水道管路管理技士（主任技士）	1 名
2 級土木施工管理技士	8 名	下水道管路管理技士（清掃）	5 名
2 級管工事施工管理技士	3 名	下水道管路管理技士（調査）	4 名
2 級建築施工管理技士	1 名	下水道管路管理技士（修・改）	3 名
浄化槽管理士	12 名	下水道管理技術認定試験（管路施設）	1 名
浄化槽技術管理士	4 名	建設業経理士検定試験(2 級)	1 名
浄化槽設備士	1 名	FRP 内面補修工法施行技能士	2 名
危険物乙 4 種	1 名	FFT.S 工法施工管理者	3 名
給水装置工事主任	2 名	ASS 工法技術者	1 名
排水設備工事責任技術者	1 名	足場組立等作業主任者	1 名
運行管理者	2 名	有機溶剤作業主任者	1 名
安全運転管理者	2 名	産業清掃技能士	4 名
設備管理者	1 名	貯水槽水道衛生管理士	2 名
小型移動式クレーン	3 名	貯水槽清掃作業監督者	3 名
玉掛技能講習	2 名	排水管清掃作業監督者	2 名
酸素欠乏・硫化水素危険作業 主任者技能講習	11 名		

6. 事業計画の概要

許可を受けた一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬は、廃棄物処理法に則り適正な処理をするとともに、浄化槽の点検・清掃、側溝清掃、下水道管渠のカメラ調査・清掃、補修工事、しゅんせつ工事を適正に行います。

7. 処理実績

収集運搬量（2023 年度：2023 年 7 月～2024 年 6 月）

単位 トン

収集運搬量	2021 年度	2022 年度	2023 年度
一般廃棄物(ごみ、浄化槽汚泥等) t	24,538	22,613	21,767
産業廃棄物（混合廃棄物）	446	409	396.4
産業廃棄物（汚泥）m ³	269	389	128

建設工事件数

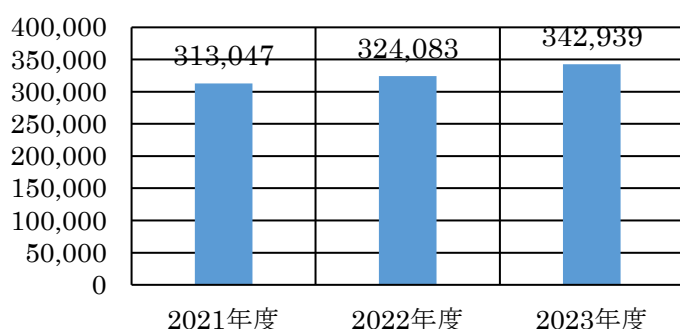
工事名	2021 年度	2022 年度	2023 年度
下水道管渠補修工事	1 件	1 件	0 件

8. 環境への負荷の状況

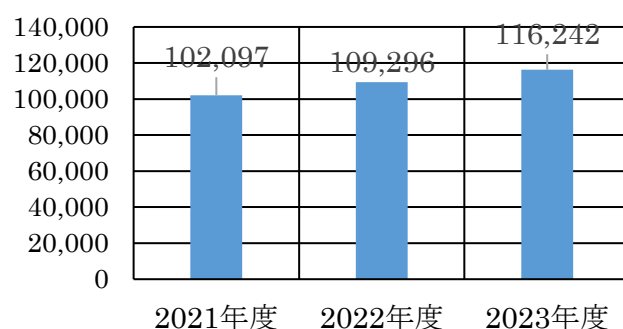
2023 年度 (2023 年 7 月～2024 年 6 月)

		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	313,047	324,083	342,939
エネルギー使用量	購入電力	kWh	28,122	26,258	24,906
		kg-CO ₂	12,430	11,606	11,009
	軽油	ℓ	102,097	109,296	116,242
		kg-CO ₂	263,410	281,984	299,904
	ガソリン	ℓ	15,906	13,015	13,673
		kg-CO ₂	36,902	30,195	31,721
	LPG	m ³	101	99	101
		kg-CO ₂	304	298	304
受託した収集 運搬量	産業廃棄物	t	446	409	396
		m ³	269	389	128
	一般廃棄物	T	24,538	22,613	21,767
自社活動からの 廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	T	0.24	0.24	0.14
	うち再資源化等量	T	0.1	0.1	0.1
水資源投入量	水使用量	m ³	1,467	1,608	2,001
物質使用量	資源使用量	T	4.32	4.15	4.66
化学物質使用量	(PRTR 制度対象物質)	t	0	0	0

二酸化炭素排出量 kg-CO₂/年



軽油使用量 ℓ/年



< 購入電力の二酸化炭素排出係数 >

購入電力の二酸化炭素排出係数は、

- ・2023 年度は、令和 3 年 1 月 7 日公表 東京電力エネルギーパートナーの令和 1 年度調整後排出係数 0.442 kg-CO₂/kWh を使用。

< 浄化槽消毒剤 >

浄化槽消毒剤は、PRTR 制度対象品でないため、その使用量は物質使用量欄に記載。

9. 廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

10. 環境経営目標、環境経営活動とその実績

中長期目標 (2023 年度～2025 年度)

期間：7 月～6 月

環境経営目標	単位	基準値 (2022 年度 実績値)	目標値		
			2023 年度 (実績値)	2024 年度	2025 年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂ /年	324, 106	342, 936	339, 500 以下	336, 000 以下
電気使用量の削減	kWh/年	26, 258	24, 906	24, 650 以下	24, 400 以下
軽油使用量の削減	ℓ/年	109, 296	116, 242	115, 299 以下	114, 000 以下
浄化槽汚泥収集運搬量の増加	t/年	12, 067	11, 613	11, 700 以上	11, 800 以上
事務所の上水使用量の削減	m ³ /年	651	886	880 以下	880 以下
側溝・排水管・下水道管渠 清掃、TV カメラ調査件数増加	件/年	9	7	10 以上	10 以上
化学物質の管理	—	—	保管管理、施錠	保管管理、施錠	保管管理、施錠

- ・ 2023 年 7 月 20 日に 2023 年度～2025 年度目標、目標値、達成手段を制定。
- ・ 2024 年度以降の目標値は、二酸化炭素排出量、電気使用量、軽油使用量は、前年実績値の 1%削減。浄化槽汚泥収集運搬量は、前年実績値の 1 %増加で策定。
- ・ 浄化槽消毒剤は、PRTR 制度対象品でないため削減目標値は設定しないが、環境活動として浄化槽消毒剤置き場の管理、施錠を行う。
- ・ 電気の二酸化炭素排出係数は、令和 3 年 1 月 7 日公表の東京電力エナジーパートナー（株）の二酸化炭素排出係数 令和 1 年度調整後排出係数 0.442 kg-CO₂/kWh を使用。
- ・ 二酸化炭素排出量の削減は、浄化槽汚泥収集運搬量の増加を目標としており、産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬量が増加すれば、収集運搬車両の軽油使用量が増加する。このため削減目標値は参考値とするが、電気使用量及び軽油使用量の削減活動により二酸化炭素排出量の増加を抑える活動を実施する。
- ・ 浄化槽保守点検新規契約受注件数は、訪問件数減少しており今後も増加は見込めないことから 2023 年度から環境経営目標から削除した。
- ・ 2023 年度から軽油使用車両の燃費向上の目標を軽油使用量削減に変更した。
- ・ 自社からの廃棄物は、140 kg/年と少なく、廃棄物削減は環境経営目標に設定しないが、削減活動活動は継続する。

2023 年度環境経営目標及び活動の結果

2023 年度（2023 年 7 月～2024 年 6 月）

環境経営目標	2023 年度目標	2023 年度累積実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	322,800 kg-CO ₂ /年以下	342,939 kg-CO ₂ /年	×
電気使用量の削減	26,160 kWh/年以下	24,906 kWh/年	○
軽油使用量の削減	108,720 ℓ/年以下	116,242 ℓ/年	×
浄化槽汚泥収集運搬量の増加	12,120 t/年以上	11,613 t/年	×
事務所の上水使用量の削減	650 m ³ /年以下	886 m ³ /年	×
側溝・排水管・下水道管渠清掃 下水道管渠 TV カメラ調査 受注件数の拡大	10 件/年以上	7 件/年	×
化学物質の管理 化学物質置き場の管理及び施錠	浄化槽消毒剤置き場の 管理、施錠	浄化槽消毒剤置き場 の管理、 施錠の実施	○

- 1) 電気、燃料使用による年間累計二酸化炭素排出量は、目標値は未達成。
2022 年度実績 324,106 kg-CO₂/年に比べ 2023 年度実績は、5.8 %増加した。
軽油使用量が増加したため、二酸化炭素排出量が増加した。
次年度も電気使用量、軽油使用量の削減に努め、二酸化炭素排出量を抑える活動を実施する。
- 2) 電気使用量削減は目標値を達成したが、それ以外の目標は目標値未達成となった。
- 3) 事務所の上水使用量は、2023 年度目標値は未達成。
水使用量が著しく増加しているが、パッカー車の清潔感を確保するため洗車回数を増やしたため洗車時の水使用量が増加した。
2024 年度から目標値を 2023 年度実績に合わせる。今後も洗車時の節水等で、使用量削減に努める。
- 4) 浄化槽消毒剤の置き場は、置き場の管理と施錠は実施した。
次年度も環境活動として今後も取り組むこととする。
- 5) 廃棄物排出量削減は、実績が 0.14 t/年であり、自社廃棄物が少ないため、削減目標値は設定しないが、削減に努めた。

注) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和 3 年 1 月 7 日公表の
東京電力エナジーパートナー（株）の調整後排出係数 令和 1 年度実績調整後
排出係数 0.442 kg-CO₂/kWh を使用。

11. 環境活動計画の内容と取組結果の評価及び次年度取組内容

2023 年度(2023 年 7 月～2024 年 6 月)環境活動計画の内容と取組み結果評価及び次年度取組み内容

環境経営目標・環境経営活動計画		評価	取組結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減			前年度比 5.8 %増	
	電気使用量の削減	○	目標値達成 達成度 105%	継続して使用量削減に取り組む。
	燃料使用量の削減	△	燃費目標値未達成 達成度 93% 軽油使用量は前年比 6.4%増加。	継続して使用量削減に取り組む。 燃費向上活動に取り組む。
電気使用量の削減			目標値達成 達成度 105% 使用量前年度比 5.1 %減	
	照明節電	○	不在の部屋の消灯実施。	不要箇所の消灯を今後も徹底。
	エアコン温度適正設定の徹底	○	室温が適正温度になるよう徹底し運転。	今後も適正温度設定を継続。
	残業時間の短縮	○	残業時間減少	仕事効率化に取り組む。
軽油使用量の削減			目標値未達成 達成度 93% 使用量前年度比 6.4 %増	
	エコドライブ・アイドリングストップの徹底	○	実施している。	朝礼でエコドライブ、アイドリングストップ実施を依頼。
	作業時の空運転の削減	○	不必要時はエンジン停止を実施。	今後も継続する。
	低燃費車への更新		なし	今後も車両老朽化を観て更新する。
リサイクル量拡大			浄化槽汚泥収集運搬量 目標値達成率 96 % 前年比 4.0%減	
	浄化槽汚泥収集運搬量を増やすため浄化槽新規顧客開拓	△	浄化槽新規顧客開拓営業活動を実施。但し新規契約件数は減少	受注営業活動は今後も継続する。
上水使用量の削減			目標値未達成 達成率 64% 使用量前年度比 36 %増	
	洗車、洗濯時の水使用量削減	△	清潔感を出すため洗車。ただし節水に努めた。	今後も清潔感を出すことを優先する。(使用量増加)
	節水意識教育	○	朝礼で節水依頼。	節水活動は今後も継続する。
側溝・排水路・下水道管渠清掃、下水道管渠 TV カメラ調査件数の拡大			目標値未達成 件数前年度比 22 %減	
	官公庁への受注営業活動の強化	○	公共事業受注への受注活動強化	受注営業活動は今後も継続する。
化学物質の管理				
	化学物質置き場の施錠等保管管理の徹底	○	浄化槽消毒剤置き場の整理、施錠実施。	今後も継続する。
事務所からの廃棄物削減		○	年間排出量は 140kg で少量のため削減目標値を設定せず削減活動を実施。	環境経営目標には設定しないが、今後も削減活動を継続する。
	OA用紙使用量削減	○	電子化によるOA用紙使用量削減活動実施。	今後も削減活動を継続する。
	OA用紙裏面有効利用	○	OA用紙の裏紙使用による廃紙発生量削減活動実施。	今後も削減活動を継続する。

評価： ○：実施しており成果も出ている
△：活動はしているが、成果がまだ十分でない。又は目標値未達成。
×：なにもされていない

12. 社長の全体の評価及び見直し

社長による評価

2023 年度の活動結果の報告を受けたが、今後も継続して目標値達成に向けて活動すること。
2024 年度の目標、2023 年度の実績及び今後の見通しから目標値は環境会議で審議し見直すこと。環境経営方針の見直しは了承した。

見直し結果からの社長指示（アウトプット）

1. 環境方針の変更の必要性
変更の必要はない。
2. 環境目標、環境活動計画の変更の必要性
2023 年度実績及び今後の見通しを基に、2024 年度目標値を見直すこと。
3. その他、環境経営システムの変更の必要性
変更の必要なし。
4. 実施体制変更の必要性
人、モノ、金体制はそろっており変更の必要なし。

13. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024 年 6 月に環境関係法規等の遵守状況を確認した結果、環境関係法規等への違反はない。
なお、過去 3 年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また近接住民、利害関係者からの苦情、訴訟等もない。

主な適用を受ける環境関連法規

浄化槽法	保守点検業者の登録、浄化槽管理士確保、 標識の掲示、清掃業の許可、帳簿管理、点検実施	OK
建設物における衛生的環境の 確保に関する法	貯水槽・排水管清掃業登録、清掃作業監督者確保	OK
廃棄物処理法	マニフェスト管理、委託契約書管理、帳簿管理、 収集運搬業許可証管理	OK
道路運送車両法	整備管理者の選任	OK
貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任、アルコールチェック実施	OK
道路交通法	安全運転管理者の選任	OK
酸素欠乏症等防止規則	酸素欠乏症危険作業主任者確保	OK
建設業法	建設業の許可	OK
フロン排出抑制法	第 1 種特定製品の 3 か月ごとの簡易点検の実施	OK

14 社会貢献

- ・ペットボトルのキャップを集め、海外の恵まれない子供にワクチンを届ける
NPO ボランティア活動に取り組んでいる。今後この活動を拡大していきたい。
- ・事務所周辺の道路清掃の実施。